

市内老人クラブ会員220人が参加。第41回高齢者福祉大運動会



6月23日、第41回高齢者福祉大運動会が総合体育館にて行われました。これは、芦別市社会福祉協議会と芦別市老人クラブ連合会の主催により、市内老人クラブ会員の健康維持や親睦交流を目的として開催されているものです。

当日は、市内220人の老人クラブ会員が本町地区A、B、上芦別

地区、常磐地区の4チームに分かれてストライクボード＝写真＝や玉入れなどのさまざまな競技を行い、各チーム得点が入るたび応援からは大きな歓声上がるなど、参加した方は競技を楽しんでいました。競技の結果、常磐地区が優勝し、昨年度優勝の上芦別地区は3位という結果に終わりました。

ツルハと市が災害時生活物資確保などの協定結ぶ

市は6月30日、ドラッグストアのツルハ（本社・札幌）と「災害時における医薬品及び応急生活物資の確保に関する協定」の締結式を行いました。

これは、災害が発生した場合の応急対策として、避難生活に必要な医薬品や生活物資などを確保し、住民生活の早期安定を図るこ

となどを目的としています。

締結式では荻原市長が「災害時、物資の供給をいただけること、市や市民にとって大変心強く、ありがたく思っております」と述べ、北海道第三店舗運営部須藤部長は「芦別店を拠点に、地域の皆さまをご支援できるような体制を取っていきたい」と話していました。



「みんなを笑顔に」。芦高祭でアトラクション熱演



第68回芦別高校学校祭が、7月8日、9日の2日間行われました。

今年のテーマは「芦高 paint（ペイント）～みんなを笑顔で塗りつぶせ～」。

8日には恒例の市内行進と市役所前でアトラクションが行われ、1年生から3年生まで全9クラスが、そ

れぞれ工夫をこらして製作した色とりどりの衣装をまとうて歌や踊りを披露しました。

この日は、気温が30度を超える炎天下。汗だくになりながらも、笑顔いっぱい熱演する生徒たちに、見守る市民の皆さんからは盛大な拍手が送られていました。

「少年の主張」空知大会開催。啓成中の渡部さんが最優秀賞に

北海道空知総合振興局主催の「少年の主張」空知地区大会が7月19日、市民会館で開催されました。

これは、次代を担う中学生に広い視野と柔軟な発想を持ち、自分の主張を正しく伝える能力を持ってもらおうと昭和54年から開催されており、今年で39回目です。

当日は、芦別市から渡部胡桃さん

（啓成中3年）＝写真＝はじめ、管内市町から推薦のあった15人が出場。家族や友人から学んだことや社会問題に至るまで、日ごろ生徒が感じた意見や将来の夢などを自分の言葉で発表しました。

審査の結果、渡部さんが最優秀賞となり、9月8日、札幌市で開催される全道大会に出場します。

